

# 半導体製造装置関連部品が激増、社内シェア50%に

## 「2020年は、過去2番目に業績が良かった」 — 渡邊社長 —



スーパーG1チャックを手取るオペレーター



精度の厳しい加工にはスーパーG1チャック。不安から安心に変わる瞬間だと言う

「振れ精度の高さを実感。難なくクリア」  
た。結果は良好で、振れ精度は3マイクロメートル以内で収まっていたという。ある意味では偶然の出会い。以降、振れ精度が求められる加工にはスーパーG1チャックを活用することに決めたと言った。「振れ精度がいいと信用できるかどうかという不安が、安心に変わる。工具の寿命が伸び、面粗度もアップして、条件を上げ

**工具寿命が伸び、  
面粗度がアップ  
生産性も1割以上伸長**

**真円度の出なかつた加工にスーパーG1チャックを活用**

25年前、渡邊秀樹社長は、マシンクセタ第2号アルミ中心で、板材、丸棒となつた東洋精機製の導入を機に、父親が創業した「ワタナベ」に入社した。パブルが続いていた。加工屋さんでの修行を終えてのスタートだった。「当時、お客様はダイカストメーカーが多く、マシンクセタで請け負える」

「2020年は、半導体製造装置関連部品の加工量が半分を占めるほど、昨年を越えて業績が良かった。他の受注分野は、通信機器、医療関連の部品など、東北、首都圏、中部という広範囲に顧客を抱えている。東北、首都圏、中部の営業の方から、スーパーG1チャックのサンプルを頂いていたので使ってみ

設備機械の中心は  
ファナックのロボドリル、  
ブラザー工業のスピーディオ  
「スーパーG1チャック  
30本以上現場で駆使」



渡邊社長

通信機器、医療関連、  
ロボット、センサーなど  
他の産業からの  
受注も好調に推移

設備はファナックのロボドリル、ブラザー工業のスピーディオ中心におよそ30台。機械管理を行う中で、10人のスタッフで仕事の振り分けを行う。「設備の入れ替えは常時行っているが、3G、4Gに絡む通信関連の仕事が増えた15年前は、1年間でも8台設備してこともあった。直近では昨年12月にロボドリル2台、今年3月にロボドリル2台を導入している。ユキワ精工とは、7年前、前田テール付き合いが始まったが、ツリリングは今年のロボドリル導入時からだった。真円度が出なかつた部品があり、困っていたところ、たまたまユキワ精工の営業の方から、スーパーG1チャックのサンプルを頂いていたので使ってみ

広範囲に顧客を抱えるワタナベ (埼玉県・川越市)  
— ユキワ精工ユーザー訪問 —

高精度ツリーリングシステム  
スーパーG1チャック



精度をとことん  
突き詰めると、  
コレット式に辿り着く



# ユキワだけ精度を 保証！ しています。

YUKIWA ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック 検索  
<http://www.yukiwa.co.jp/>



本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111 (代) FAX.0258-81-1112  
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.